

存在感示す

5選手が優勝

選手権 金子功誠、中村剛士、中村拓磨

新人戦 金子将大 女子 小林奏音

東日本学生レスリング選手権 6月26、28日、駒沢体育館

新人戦の部、選手権の部、女子の部の3部が行われた今大会。5人が優勝し、専大レスリング部の存在感を示した。優勝したのは次の選手。
【新人戦】フリーA74kg級・金子将大(文2・島原高) 【選手権】フリー

級・金子将大(文2・島原高) 【選手権】フリー



相手の隙を逃さず背中を取る中村剛士(左)決勝戦

22年ぶりの2位

1、2年次生の活躍光る

関東学生水球リーグ戦 5月18日〜6月23日、神奈川県・日体大健志台キャンパスほか
専大水球部は昨年からの順位を一つ上げ、22年ぶりの2位と躍進した。1次リーグを5勝2敗の2位で終え、上位4大学による2次リーグに進んだ。第1節の早大戦は20-14で危なげなく勝利するも、第2節の筑波大戦は、相手キーパーの好

専大スポーツ

No. 398

【専大スポーツ】 <https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>
【専大スポーツ編集部Web】 <https://sensupo.com/>



豪快なフォームでゴールを狙う河村(筑波大戦)



力強くレイアップシュートに持っていく寺澤

石山・吉田ペア準優勝



ネット際の球を打ち返す吉田(右)と石山

関東学生卓球選手権 6月6〜8日、埼玉・和光市総合体育館
男子ダブルスで石山慎(人間科学2・開志国際高)・吉田聖斗(文1・希望が丘高)ペアが準優勝を果たした。
石山・吉田ペアは準々決勝をフルセットの末突破すると、勢いそのままに準決勝は3-1で快勝。決勝で破塚将人・緒方遼太郎(早大)ペアと対戦した。序盤から石山・吉田ペアが積極的攻



好投した佐藤(初戦)

1部復帰ならず
東都大学野球春季1、2部入れ替え戦 6月18〜20日、神宮球場
昨秋に続き2季連続で入れ替え戦に臨んだ専大。駒大との初戦は2本塁打を含む12安打7得点と自慢の打力が爆発。自分たちのプレーができた。しかし、第2戦で痛恨のサヨナラ負けを喫すると、第3戦を1-6で落とし、1部復帰はならなかった。「最後は気持ちで押し切られた。緊迫した場面での

攻撃力発揮 ノーシードから準V

関東大学バスケットボール新人戦 6月4〜9日、葛飾区水元総合スポーツセンター体育館ほか
ノーシードから頂点を目指した男子バスケットボール部が、抜群の攻撃力で準優勝に輝いた。初戦で埼玉大を1-16で破ると、次戦の順大戦は1-0で破ると、0点ゲームで準決勝に駒を進めた。筑波大との準決勝は73-68で接戦を制した。決勝の相手は東海大。試合は一進一退の

女子は5位

関東大学女子バスケットボール新人戦 5月25日〜6月16日、各大学体育館(文1・文化学園大杉並)



チャンスを探るゲームキャプテンの千葉

1、2年次生9人で臨んだ専大は出場74校中、堂々の5位となった。アシスト王に篠崎来夢(文1・文化学園大杉並)が選ばれた。大会は(山下佳帆)が選出され「ポイントガードとして成長できた大会になった」とコメント。ベスト8賞の永末雪乃(文1・文化学園大杉並)は「まだまだの点もあるので、練習を重ね、更に成長したい」と話した。

2・秀明英光(高)は、「1対1で勝つようにこれからの2カ月で筋力や体力など、詰められる部分を強化していきたい」と語った。
9月の日本学生選手権に向けて青山直輝(経済高)が33得点で得点ランナーとなった。
9月の日本学生選手権に向けて青山直輝(経済高)が33得点で得点ランナーとなった。
9月の日本学生選手権に向けて青山直輝(経済高)が33得点で得点ランナーとなった。

大会だった。(山下佳帆)が選出され「ポイントガードとして成長できた大会になった」とコメント。ベスト8賞の永末雪乃(文1・文化学園大杉並)は「まだまだの点もあるので、練習を重ね、更に成長したい」と話した。